

生活設計・資産運用について考えるシンポジウム

主催：金融庁・北陸財務局

金融庁と財務省北陸財務局では、金融商品が多様化する中で生活設計・資産運用の在り方について考えていただくために、「生活設計・資産運用について考えるシンポジウム」を開催しました。

＜開催概要＞

1. 開催日時：平成22年11月27日（土） 14：00～16：30
2. 開催場所：石川県勤労者福祉文化会館（フレンドパーク石川） 2階ホール
3. 後 援：内閣府、消費者庁、文部科学省、金融広報中央委員会、
石川県、金沢市、石川県金融広報委員会
4. 参加者：一般応募者 151名
5. 当日のプログラム

（1）基調講演

「「守りながら増やす」これからの資産運用」

神戸 孝 氏 FPアソシエイツ&コンサルティング(株) 代表取締役

（2）フレステーション

「最近の金融関連苦情相談について」

新屋 康夫 氏 石川県消費生活支援センター 相談課長

（3）パネルディスカッション

コーディネーター

羽田野 博子 氏 (株)くらしと家計のサポートセンター 代表取締役

パネリスト

大島 重衛 氏 星稜女子短期大学 学長

神戸 孝 氏 基調講演者

新屋 康夫 氏 フレスエンターター

平 康弘 氏 (株)北國銀行営業統括部副部長 兼 支店支援部副部長

《シンポジウムの模様》

（基調講演の模様）



神戸 孝 氏から、「『守りながら増やす』これからの資産運用」と題して、日本が高齢化・少子化になる中で、個人のリスク許容度を踏まえた自分に合った投資スタイルを確立する等の賢いお金の付き合い方についてユーモアを交えつつ講演していただきました。

（プレゼンテーションの模様）



新屋 康夫 氏から、「最近の金融関連苦情相談について」と題して、消費生活支援センターで受ける金融トラブルの実例などを紹介いただき、その対策について説明していただきました。

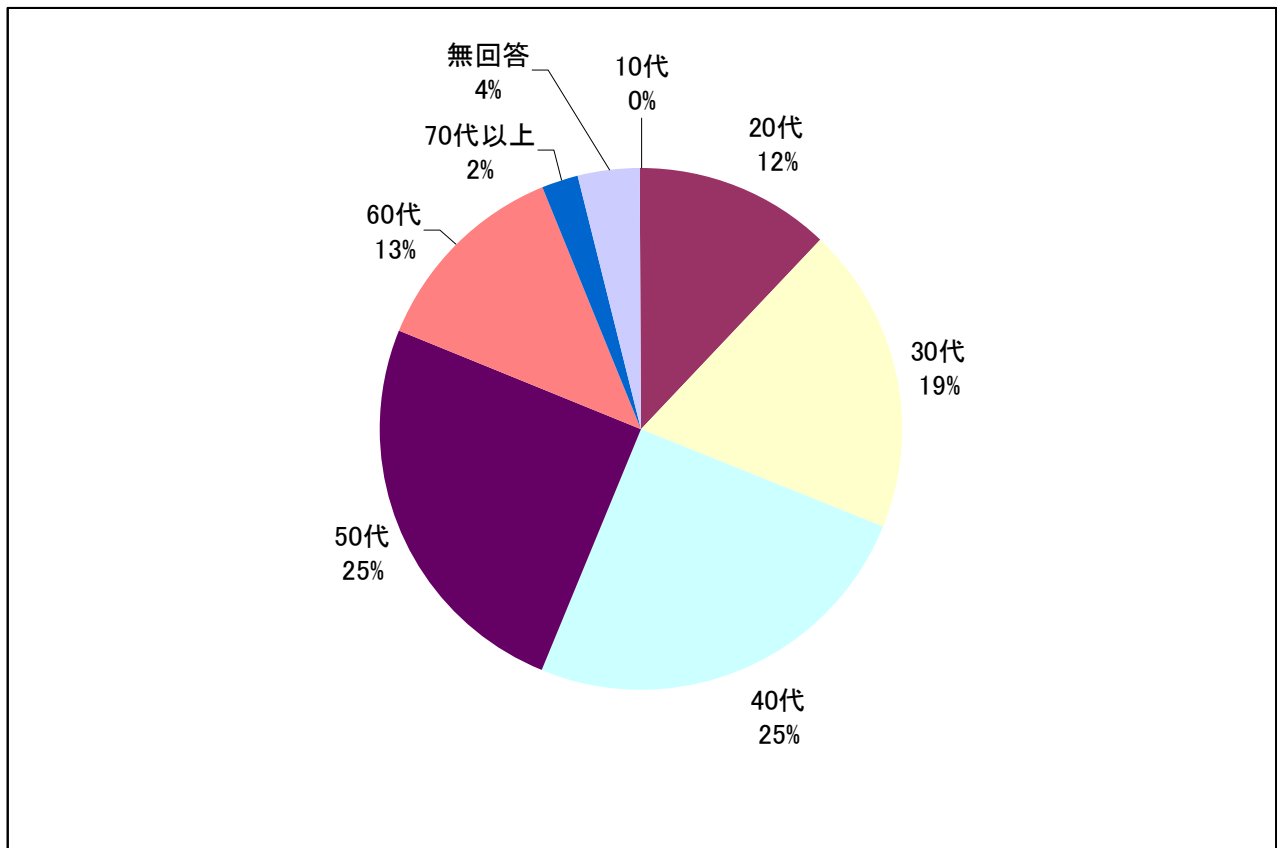
（パネルディスカッションの模様）



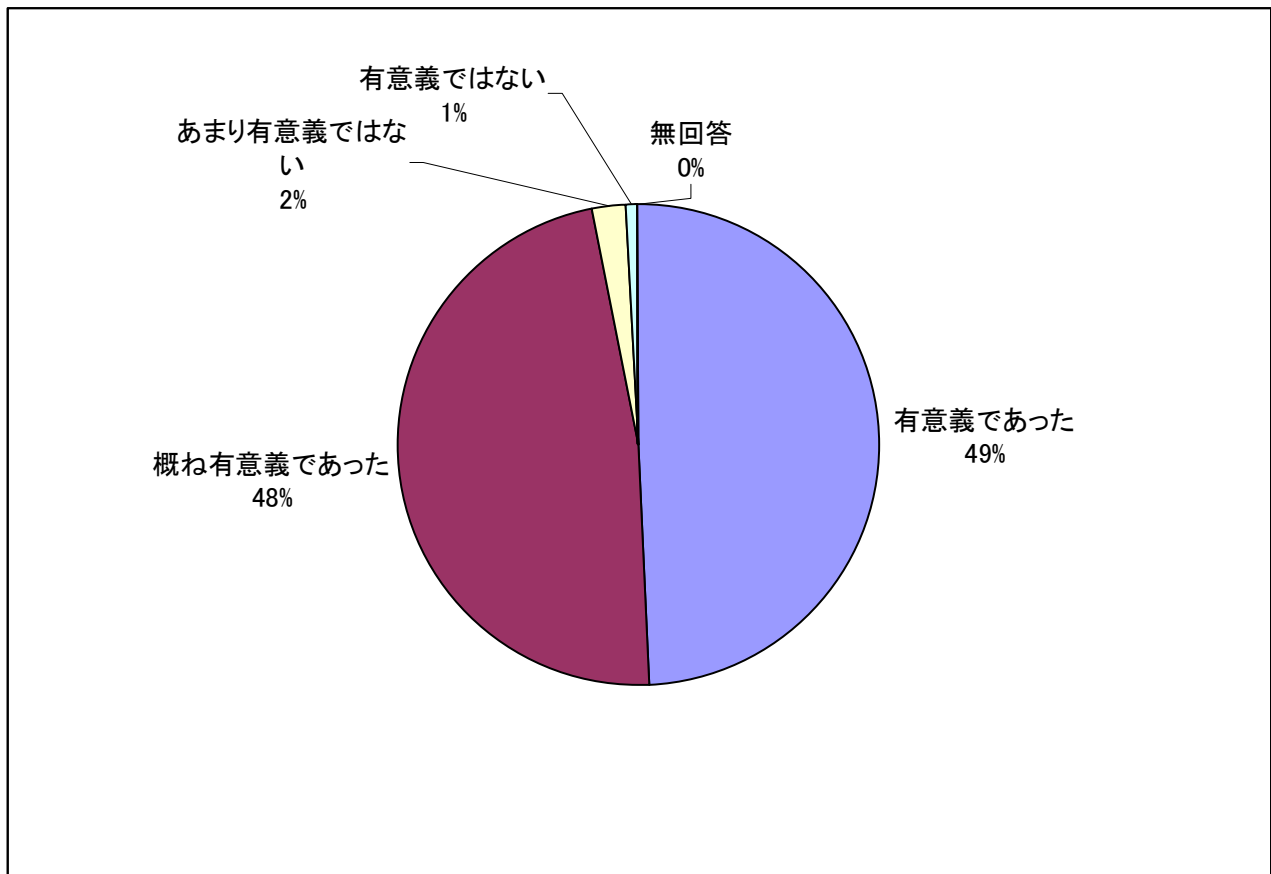
生活設計を考える上で資産運用の重要性や金融知識修得の必要性などについて、相談に来られる方の実例や自身の経験なども交えながら、金融論の教授や資産運用の専門家、消費生活相談員、金融商品を販売している金融機関などの立場から、活発な議論を展開していただきました。

シンポジウムアンケート結果

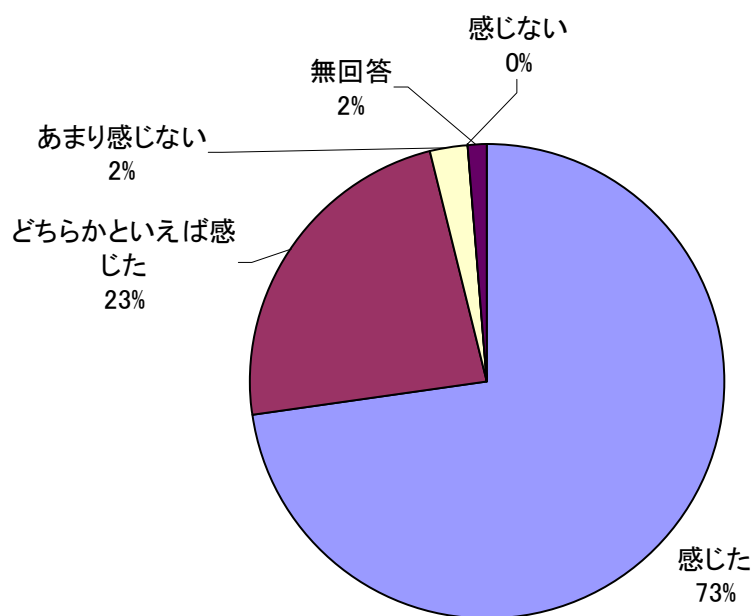
1. 年齢構成



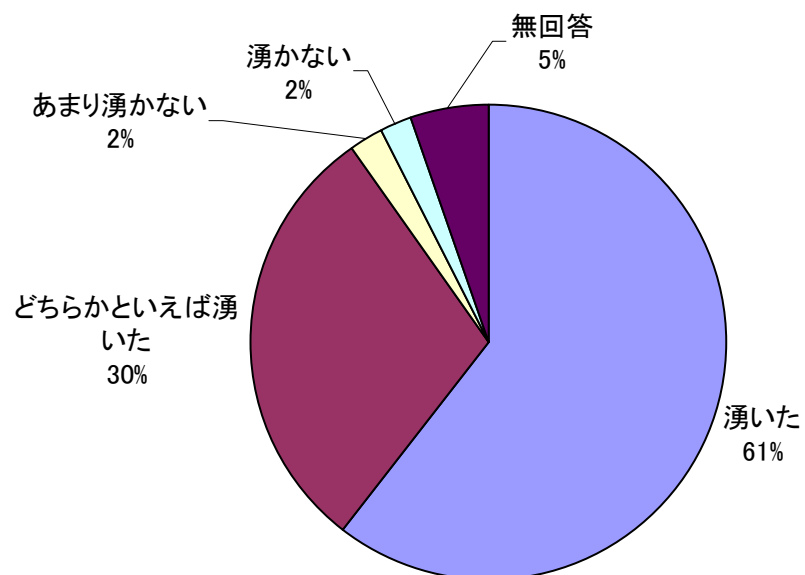
2. 本シンポジウム全体の印象について



3. 本シンポジウムに参加し、金融知識の習得が必要と感じたか



4. 本シンポジウムに参加し、生活設計等に関心が湧いたか



5. ご意見・ご感想

○主なご意見・ご感想は以下の通りです。

- ・参加して自分自身にとってプラスになりました。このような機会を与えていただきありがたい。
- ・大変為になるシンポジウムであり若年層が参加し、今後の知識として身につけて欲しい内容であった。
- ・「資産運用」と「金融商品トラブル」は切り離して別々に実施してほしい。
- ・基調講演など分かりやすい講演内容だったので、もう少し大きな会場で、幅広い者を対象に行ったらよい。

他にも多数のご意見・ご感想をいただきました。